

近代英語協会第24回大会

日 時：2007年5月18日（金）
場 所：青山学院大学（青山キャンパス6号館・第4会議室）
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL: 03-3409-8111（総合案内）

受付開始 9:30
開会の辞 10:00 — 10:10 会長 青山学院大学教授 秋元 実治

シンポジウム 10:10 — 12:10

「コロケーションの通時的研究」

司会・講師 熊本学園大学教授 堀 正広
講師 「強意副詞 *very* の発達」 姫路独協大学教授 西村 秀夫
講師 「談話標識の通時的研究と初期近代英語期の用法—コロケーションの視点から」 大阪大谷大学教授 浮網 茂信
講師 「18世紀から20世紀までのコロケーションの通時的研究—様態副詞を中心に」 熊本学園大学教授 堀 正広

昼食・総会 12:10 — 13:30

研究発表

第一部 13:30 — 14:50

司会

山口大学准教授 前田 満

1. 奪取動詞の前置詞句構文に関する歴史的考察 鶴見大学非常勤講師 真川 まりこ
2. Cannot Bear の補文構造の過去・現在—The Corpus of Late Modern English と The British National Corpus を利用して— 摂南大学専任講師 住 吉 誠

休 憩 14:50 — 15:00

第二部 15:00 — 16:20

司会

鶴見大学教授 小 倉 美 恵 子

1. Chains of Information with Referential Forms in English: A Historical Discourse Perspective 沖縄国際大学准教授 柴崎 礼士郎
2. 現代英語の子音体系：最後に登場した音素 法政大学教授 羽田 陽子

休 憩 16:20-16:40

特 別 講 演 16:40-18:00

司会

名古屋大学教授 天野 政千代

講師 “*As it were* and *if you will*: The development of clausal pragmatic markers”
Professor Laurel J. Brinton, University of British Columbia (Canada)

閉会の辞 18:00 — 18:10

懇親会 18:30 — 20:00

東京学芸大学名誉教授 宇賀治 正朋

会場：アイビーホール 青学会館

グローリー館 3階 アロン